

2013年度 多摩福祉会事業報告

2014年5月17日

はじめに

今年度は、年度途中から理事長が体調を崩したため、11月より経営責任を担う組織として経営会議を設置し法人経営にあたってきました。

あわせて、法人による貝取学童の運営体制への支援をおこなってきました。

東京都からの指摘事項の改善、法人本部体制、就業規則の統一化、人事の課題等当面する課題を評議員、理事、監事のみなさんの力も借りながら課題の解決にあたってきました。

(1) 2013年度重点課題

① 新会計基準への移行準備について

事業計画では「新会計基準移行準備委員会」を設置し、2014年4月より実施する予定でしたが、会計ソフトの選定は行いましたが、4月実施には至らず、次年度の課題になります。

② 諸規則の統一化及び賃金について

再構築委員会（施設長3名、理事1名、税理士、社労士）を設置し、就業規則、給与規定の見直しを行ってきました。賃金、前歴換算表、その他諸規則の見直しについては、次年度の課題になります。

③ 法人研修について

5月11日(土)に理事の方が講師になり法人として初めて新入研修を実施しました。当日は新入職員だけでなく各施設から多くの参加者があり、研修終了後には小グループに分かれての懇談、交流を行いました。

④ 新規事業について

2015年度永山学童クラブ委託にともない、準備委員会を設置し検討を行ってきましたが、現時点では人事も含め法人の強化が必要という判断で今回は応募しませんでした。

⑤ 40周年事業について

実行委員会（理事1名、施設長1名、各施設職員4名）を設置し、11月29日(土)に記念事業をおこないました。当日は理事、保護者、卒園児保護者、業者、職員等100名近くの人が参加して法人の歴史を学びながら交流しました。

(2) 法人運営について

11月までは3役会、施設長会を中心に理事会、評議会を開催してきました。その後は経営会議が中心になり、より適正な運営を目指して臨時の理事会、評議会を開催してきました。